

# 緑の相談所だより



No.133

財団法人 旭川市公園緑地協会 旭川市緑の相談所

〒078-8327 旭川市神楽岡公園内 Tel: 0166-65-5553 Fax: 0166-65-5626

旭川市公園緑地協会ホームページ <http://www.asahikawa-park.or.jp>

発行：平成 23 年 12 月 1 日

## 講習会のご案内 (お申込み・受付は前月の 20 日から)



### 「クリスマスからお正月の寄せ植え」-実習-

とき 平成 23 年 12 月 4 日(日)教材費 2,000 円

午後 1:30~3:30 定員 20 組

講師 フラワーマスター 山本裕美さん

### 「果樹の剪定と栽培管理」-プラム、サクラホトなど-

とき 平成 24 年 2 月 19 日(日)

午後 1:30~3:30 定員 50 名

講師 ふじくらますも果樹園

代表 増茂 聡さん

### 年 末 年 始 の ご 案 内

平成 23 年 12 月 30 日(金)~平成 24 年 1 月 4 日(水)

まで緑の相談所は休館させていただきます。



旭川市緑の相談所

### 「洋ラン! 春から夏の育て方」

とき 平成 24 年 2 月 26 日(日)

午後 1:30~3:30 定員 50 名

講師 旭川蘭友会

顧問 笠原幸三さん

### 「春作業・花と野菜の種まきと育苗」

とき 平成 24 年 3 月 11 日(日)

午後 1:30~3:30 定員 50 名

講師 相談員

## 展示会のご案内 (初日は午後から、最終日は 4 時まで)

「神楽岡公園の自然写真展」12 月 3 日(土)~1 月 29 日(日) 出展：井原久夫さん

### 【休館日のご案内】

4 月~10 月は第 2・第 4 月曜日が休館日です(祝日の場合は翌日)

11 月~3 月は毎週月曜日が休館日です ( " )

ご来場を  
お待ちしております  
いま~す!



# 12月・1月の園芸作業

## 1 鉢花・観葉植物

シクラメンは、日光が良くあたる場所に置き、昼間は15～18℃、夜間は8～10℃に置き、液肥(1,000倍程度を10日に1回)を与えましょう。また、花立ちを良くするために新しく出た花茎は株の中心から放射線状に下げて行く「葉組み」をしましょう。花や葉が傷んできたなら花茎を捻ってから抜くと芽を傷めません。

アマリリスが休眠から覚め、花茎が出てきた時は20℃前後の部屋に移して、水やりを開始しましょう。

クンシラン、花茎の出現を良くするために10℃程度の低温で水をやらずに管理します。花茎が伸びてきたら20℃前後の部屋に置き、水を与え始めましょう。

アザレアは、10～15℃の場所で40～50日間で開花します。開花株はやや寒い部屋の窓辺に置き、鉢土が乾いたらたっぷり水やりをしましょう。また、開花後は寒い部屋にもどして下さい。

シャコバサボテンの花が咲き終わった株は、最低5℃位の明るい部屋で、乾燥気味に管理しましょう。

クジャクサボテンは、水やりを中止し無暖房の室内で夜間凍らない程度の場所で休眠させ、夜間照明する部屋には置かないようにしましょう。

玉サボテン類の水やりは、春まで中止しましょう。出来れば無暖房の部屋で夜間凍らなく、照明がなく、温度が下がる場所で休眠させましょう。

ハイビスカスは、冬季間光線不足で花つきが悪い時期です。伸び過ぎている場合は切り戻し剪定の適期です。

サンセベリアは、最低7～8℃まで下がる室内では水やりを中止しましょう。過湿になると根腐れ症状で枯死することがあります。

アデニウム(砂漠のばら)やクラッスラ属(カネノナルキ)アロエ(千代田錦)等は窓辺で日光に十分当てて水やりを控えましょう。

スパティフィラムは、日光の当たらない部屋に長く置くと花が咲きません。日光が大好きなので、日光のよく当たる窓辺に置くと白い花が咲きます。

ディフェンバキアは、寒さを嫌うので、室温が15℃以下にならない部屋に置きましょう。

観葉植物のほとんどは、暖房による空気の乾燥を嫌うのでこまめに霧吹きするか、葉面を濡れた布で拭きましょう。また、低温で落葉することもあるので15℃以上で育てて肥料を与えません。低温過湿を嫌う種が多いので置き場所に注意し、種類に合った水やり管理をしましょう。

ハナウメの盆栽は、正月に鑑賞した後、花が終って芽が出ないうちに戸外に出し、土の上に置いて枝が折れないように囲いをして雪で埋め戻しましょう。

## 2 洋ラン類

シンビジウムの花茎が伸長し始めた鉢は、日中当たりの良い場所で温度は10～15℃を保ち、肥料は与えず、花芽が伸びるにつれて水分が必要となることから鉢が乾いたら水やりを行いましょう。

デンドロビウム・ノビル系は、花芽分化の始まる大切な時期ですので日中20℃以下、夜温も7～10℃で管理し、水は控えめに与えましょう。

カトレアの冬咲き系は、シースの中に蓄ふくらむ時期です。支柱を立てて花茎を固定し、水は花芽の成長に応じて乾いたら与えましょう。この時期は肥料を吸収しないので与えません。開花中の鉢は温度13～23℃を保ち、水やりは控えて、鉢の中がわずかに湿っている状態にします。開花には高い湿度と日光が必要です。

コチョウランの生育適温に注意しましょう。10℃以下では生育が停止します。夜間最低温度を18～20℃に確保し、水ゴケの表面が乾いてきたら株元に水やりをし、またパットに水を入れタオルを敷いてその上に鉢を置く等の湿度対策も行いましょう。

ラン類すべてに毎日午前中にシリンジ(霧)をしましょう。



# ヤドリギ（宿り木）

## ヤドリギ科ヤドリギ属

落葉樹木の枝や幹に寄生する常緑樹で、根から宿主の養分や水分をうばい、葉では光合成をしている半寄生植物です。

枝は二叉状に分枝を繰り返して生育します。

サクラ、カシワ、ミズナラ、ハルニレ、ナカマツ、ホノマサ等によく寄生しています。

雌雄異株で花は5月頃開花し、果実は10月頃熟します。

果実は野鳥に食われて移動し、種子は粘着性のものに包まれているので、糞とともに木の枝や幹に貼り付き新しい個体となり分布を広げています。



## 緑の相談 QアンドA (7)

購入したポインセチアの下葉が黄色くなって落葉してしまいます。どうしてですか。

### 栽培のポイント

**置き場所** 光を好むので、出来るだけ日光の当たる明るい所へ置きます。日光が当たれば鉢土の温度低下も防げます。

生育温度は日中 20～25℃、夜間 15～17℃が適温です。10℃以下では葉が黄色くなり落葉などの障害が出ます。

暖房の温風が直接当たる場所は避けましょう。

夜間カーテン等の外側に置いてある場合、温度が低くなっている場合があるのでチェックしましょう。



色づいて花のように見えるのは苞と呼ばれる葉です

**水やり** 水は良く吸収しますが、常時鉢土が湿っているのは良くありません。表面の土が乾いたら水温を室温程度に温めて与えましょう。  
鉢皿に水が溜まっている事はあってはいけません。冬期間の室内は乾燥するので葉が傷みます。霧吹き等で補いましょう。

**肥料** 肥料が切れてくると落葉しやすくなります。成長期だけでなく、開花中も薄い液肥（1,500 倍程度）を月2回程度施しましょう。

# アデニウムの管理

早春から夏にかけピンク系の花を長期間咲かせる美しい多肉植物で「砂漠のバラ」と呼ばれます。丈夫で栽培も容易ですが、寒さに弱く冬の管理に気配りが必要です。

**置き場所** 熱帯が原産地なので暑さに強く寒さに弱い植物です。日光がポイントになります。

南側の日の当たる場所が最適です。

**水やり** 水はたっぷりと与えますが、草花のようなほぼ毎日の水やりは根腐れの原因になりますので、土が乾いてから与えます。乾きすぎて枯れる心配は無用です。

**施肥** 3月中旬から6月中旬までは、2,000 倍に薄めた液肥を半月に1回程度、6月中旬から8月下旬までは1,000 倍に薄めた液肥を10日に1回程度与えます。

**挿し木** 6月中旬から8月中旬に赤玉土（小粒）7、バーミキュライト3の培養土に剪定した枝をさし木繁殖で増やします。

挿し穂はできる限り充実した茎をカッターで切り戻し、切り口をメネデルの原液につけてすぐ、さし木床にさします。

**取り木** 6月中旬から8月中旬（20 度前後の温度を保てれば季節を問わない）

主幹と枝はよく伸長するのでバランスが悪くなります。2年に一度は剪定の必要があり、この時期に取り木を行うと一石二鳥です。取り木の失敗は少なく作業後の草姿がよくなります。

- 1 枝の下から1/3残すくらいの切れ目を入れ、口が開くよう支柱で固定します。
- 2 切り口を乾かすため、2週間くらいそのまま放置します。
- 3 その後、湿らせた水ゴケをまいて外側をビニールフィルムで押さえ、発根を待ちます。
- 4 十分発根したら下部をカットし、鉢植えします。（約45日で発根60日経過すれば十分）

## 冬の管理

- ※ 冬期でも15度以上を保つと開花を続けます。
- ※ 断水して5度以上保つようにすると、落葉後休眠して越冬します。
- ※ 0℃以下になると断水しても冬越しは不可能、株全体が枯れるてしまうので注意が必要です。
- ※ 窓越しで十分に日光を当てます。



## 展示室の植物（40）

### マンデビラ

キョウチクトウ科マンデビラ属



非耐寒性の常緑つる性（5℃以上）です。

熱帯アメリカ原産の、赤いラッパ型の花びらがあでやかで熱帯らしい美しい花を次から次へと咲かせます。花期が長く初夏から秋まで、元気なたくさんの花を咲かせ続ける貴重な植物です。熱帯の植物の割には比較的育てやすく、つるの長さは5m以上になります。花の大きさは7cmほどで、花色は赤、ピンク、白などの花を咲かせる種類があります。